

ESSENTRA PLC（「会社」）

現代奴隷法にかかる声明

本声明は、2015年現代奴隷法（Modern Slavery Act 2015）に従って公開したもので、2021年12月31日に終了する年度にEssentra plcとその子会社（「Essentra」）がその事業とサプライチェーンにおける現代の奴隷制と人身売買を防止するために講じた措置を詳述しています。この声明は取締役会によって承認されました。

はじめに

2021年、Essentraは、当社の事業、サプライチェーン、合併事業に現代の奴隷制と人身売買が入り込む余地を確実になくすために、法的能力を高め続けてきました。当社の内部方針と研修は、継続的に導入・改善されています。

当社の事業

Essentraは、必要不可欠なコンポーネントとソリューションを提供する有数のグローバルプロバイダーです。当社は、エッセントラ・コンポーネンツ、エッセントラ・パッケージング、エッセントラ・フィルターズの3部門で編成されています。

Essentraは、多種多様なエンドマーケットと地域のお客様の意図を実現する軽工業製品コンポーネントの大量生産と流通に注力しています。

当社のグローバルネットワークは32か国に広がり、47か所の主要製造施設、販売流通業務拠点、4か所の研究開発センターを擁しています。

当社の働き方

Essentraでは、正しい方法で事業を遂行することに取り組んでいます。エッセントラハウスに示したように、事業は当社の目的と価値観に沿って構築されています。



すべての従業員は、会社の価値観と倫理規定の原則を理解し、受け入れることが求められています。その倫理規定とは、多様性を尊重し、周囲の人々の安全を確保し、正直かつ誠実に行動すること、最高の倫理基準に基づいてすべての活動を行うこと、および当社のビジネス慣行がすべての法律または規制の要件を遵守していることです。私たちは、現代奴隷制に関連する原則と方針が確実に受け入れられ、当社の基礎となる企業文化の一部に組み込まれるように、積極的に関与する魅力あるチームを獲得したいと考えています。

当社の方針

簡潔に言えば、当社の「奴隷制と人身売買の防止に関する方針」は、奴隷制と人身売買、および現代奴隷制を促進するあらゆる活動を禁止および防止することを目的としています。

すべての従業員は、本方針を遵守することが義務付けられています。各地域の管理委員会は、それぞれの地域のすべての従業員が奴隷制と人身売買の防止に関する方針を理解し、これを遵守することを保証する責任があります。

従業員は、本方針を受け入れ、理解し、毎年遵守していることを証明することが義務付けられています。本方針を遵守しない場合、会社および/またはその従業員は刑事責任または民事責任を問われる可能性があり、違反が立証されれば、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

また、インドとインドネシアにおける当社の業務は、人権の基本原則を規定したSA 8000規格の認証を受けています。Essentraは、実質的にいかなる範囲においても季節労働者を雇用することはないため、これを重大なリスク領域とは考えていません。

Essentraの「発言権に関する方針」とプロセスは、倫理規定の基準または、実際に当社の方針のいずれかが守られていないと従業員が純粹かつ合理的に考える場合に、その状況を報告できるように用意されています。私たちは、従業員が不当な扱いや報復を恐れずに、会社のサポートを受けながら、誠実かつ率直にこのような懸念を表明できると感じられるようにすることを約束します。

サプライチェーン

Essentraは、自社の事業において、またサプライチェーン全体で現代奴隷制と闘うアプローチにおいて、透明性の確保に取り組んでいます。

Essentraはすべての請負業者、サプライヤー、その他のビジネスパートナーに対し、契約プロセスの一環として、当社と同じ高い基準を採用することを期待しています。私たちは、すべてのサプライヤーがその請負業者に対し、同じ高い基準の倫理感と誠実性に責任を負わせることを期待しています。

2021年、当社の調達チームは引き続き、サプライヤーの抜き取り検査や主要サプライヤーとの年次レビューの実施を含む改良版サプライヤー管理アプローチを組み込みました。ここでは当然ながら、Essentraの方針も点検し、焦点を当てます。

当社の「自社のサプライヤーを知る」および「第三者のデューディリジェンス」に関する方針の手順の一環として、当社は、現代奴隷制のリスク評価を含む適切な調査とリスクに基づいた点検をサプライヤーに対して実施することを、しかるべき管理チームに要求します。さらに、すべての現行サプライヤーは、当社のサプライチェーン内で人権に関する潜在的なリスクを特定および排除するための点検の対象となります。

当社の標準契約の諸条件には、英国の法律および現代の奴隷制に関するEssentraの方針の遵守を促進する条項が含まれています。例：「サプライヤーは、以下に関するすべての適用法、規制、行動規範を遵守します：人権、労働法、および労働者の権利。ここには2015年英国現代奴隷法（United Kingdom's Modern Slavery Act 2015）が含まれますが、これに限定されません。特に奴隷制、隷属、強制労働、人身売買にいずれの形でも直接的または間接的に関与しないものとします。」

従業員研修

私たちは、すべての従業員に、会社の方針を確認し同意することを求めています。方針は、原則と価値観の基本となるか、さもなければ、個々の従業員の役割と責任に関連するものであり、現代奴隷制の回避と人権保護に関連する重要な方針が含まれます。

当社のコンプライアンスと倫理に関するプログラムでは、重要なコンプライアンスの問題について、従業員の認識を高めるための研修が提供されています。当社の方針は、eラーニング研修プログラムによって従業員の理解を促し、適宜、授業形式のセッションを開催しています。すべての部門には、それぞれの活動において最も一般的なリスクを特定することが求められています。特定の司法管轄区においては、Essentraのサプライチェーン内で現代の奴隷制を回避するために必要となる行動にさらに大きな重点を置くことが含まれます

。

コンプライアンス

「奴隷制と人身売買の防止」および「第三者のデューディリジェンス」を含む当社のすべての方針の受け入れ率については、グループ・リスク・アシュアランス・チームが通常の内部監査プロセスの一環として点検し、当社の原則と基準が遵守されていることを確認します。その結果は、監査およびリスク委員会と広く取締役会に伝達され、リスクまたはコンプライアンスのインシデントが特定され、合理的に実行可能な限り速やかに、適切な是正措置が特定され、講じられるようにします。

まとめ

Essentraが必要不可欠なコンポーネントとソリューションを提供する世界有数のプロバイダーとなることを可能にしているのは、社内の従業員であり、私たちが取引し、関わりを持っている人々です。このように、Essentraは引き続き、その従業員とサプライチェーン内の人員が倫理的に敬意をもって扱われるように尽力します。

取締役会の命令により



ポール・フォーマン - Essentra plc最高経営責任者